

# 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	せぎなお会
活動タイトル	伝統的な棚田稲作の伝承を目指す活動
活動地域	滋賀県高島市畑地集落



2023年5月20日 田植え一日目

## 【活動の目的・目標】

棚田百選に選ばれた集落も高齢化により耕作放棄地が年々増加。当会が棚田の保全整備活動を続けることで次世代に美しい景色や自然のダム、機械に頼らない(頼れない)伝統的な農法を伝えてゆきたい。

集落は、動植物も外来種に世襲されていない在来種の宝庫。活動を通しそれを守り残してゆきたい。



2023年7月29日 ビオトープでの生き物観察会

## 【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

無農薬での米作りを進めているが除草剤を使わない田圃は驚くほどの草が生えて来て、草とりが追いつかないくらいだった。

前年、いもち病に罹り収量がかなり減少したため株間を開けて田植えをした。

健康な米に育ったがやはり収量は少なかった。耕作放棄地が増えたことにより獣害も増えている。



2023年9月16.17日稲刈り、はさがけ終了

## 【活動の内容・成果】

開催回数：全体活動三回

参加人数：延べ100余人

達成率：80%

- ・新年度がスタートした4月初旬、会員の募集退会、継続の確認
  - ・4月に数回、泥上げ、代掻きは都合のつく会員数名で準備
  - ・5月20.21日 会員とビジターによる田植え
  - ・6月中旬から毎週補植 都合のつく会員の自由参加
  - ・月一度の畝刈現地管理者が中心になり自由参加
  - ・9月23.24日稲刈りはさがけ
  - ・9月27日脱穀
  - ・10月1日粃摺り
- 今年の収量は玄米90kg

## 【団体概要】

2020年耕作放棄になる予定だった棚田4枚を復元。年々耕作地を増やしビオトープも作り動植物の保存にも努め今年度で4年目になる。ている。

今年度は個人で耕作する会員も二組出来た。このように集落と個人をマッチングさせるパイプ役になるのもせぎなおの仕事だと考えている。

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



2023年5月20日田植え 初日集合写真  
竜谷大坂本ゼミの学生さんも参加してにぎやかに田植え初日を終える事が出来た。



田植え初日の田植えの風景  
始めて田圃に入るといふ若者が多くて足が抜けずの転倒する学生もいたが若い力は思いのほかパワフルで予定の田圃の田植えを予定より早く終える事が出来た。



7月中旬 畝刈と棚田の保全をした。



9月23日稲刈りを会員で開催。  
まずは2番目の田圃から刈り取りはさがけの準備をした。